

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価				今後の展開・改善点等	備考
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		自己評価	調査結果	満足度	補足		
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、事業資金融資等の金融相談、決算・確定申告の相談指導、労働保険等の相談指導、情報化支援相談、経営安定のための共済制度の導入など経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数495事業所 ・巡回窓口指導延件数1346件（うち創業支援4事業所15件） （うち非会員12事業所22件） ・課題解決提案件数 26件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 79.2 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 86.7 %)	経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問、又は事業者が商工会窓口へ来訪し、経営に関する課題の相談など、小規模事業者が実際に困っている問題について親身になって相談指導を行うことにより経営改善に資することができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 一括アンケート回答数111件	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	持続化補助金等を活用した販路拡大の支援や補助金申請にかかわる事業計画策定などの専門的な相談が増加してきており一つの事業所に関わる時間が長くなってきている。今後も気軽に相談できる頼れる支援機関となるように努める。			
記帳継続指導	記帳指導職員を中心に商工会の職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法や決算・申告の指導を行い、適正な税務申告と経理処理による経営力の向上に結び付けていく。	・指導対象者数 77人 ・指導延日数 586日 ・指導延回数 775回	小規模事業者	指標 指導延回数 (達成度 110.7 %)	指標 (達成度 %)	個人で青色申告を選択している事業主を対象に、日常の記帳の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ業種・事業所にあった形で分かりやすく指導し、自ら記帳することにより経営内容を把握し、経営の安定化につながった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 一括アンケート回答数105件	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	税務署と連携し、記帳継続指導会を設置するなどし、新規開業者及び初めて青色申告を行うような事業者を中心に記帳継続指導会及び記帳機械化の対象者の募集を積極的に行っていく。			
講習会	経営に関する様々な問題解決に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識を習得することで、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 9回 126人 個別 23回 137人 計 32回 263人	小規模事業者	指標 講習会等受講者数 (達成度 164.4 %)	指標 (達成度 %)	・経営に関する各分野に対する知識、情報等の取得 ・経営における技術指導による知識の取得、向上 ・経営に対する考え方の見直しによる経費削減などの意識の向上 ・個別などの直接的な指導によるキメ細かなアドバイス	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 一括アンケート回答数91件	目標 上げる 実施方法 現行どおり	事業者の要望に沿った講習会の実施。必要に応じて計画実施する。			
事業計画策定支援	経営に不安を抱えている小規模事業者や、事業の拡大を希望する意欲ある小規模事業者の取り組みを行い、事業計画策定の重要性を理解して頂くと共に、実現性の高い経営計画策定に繋げる。	講習会開催回数及び受講者数 集団 1回 10人 個別 2回 23人 計 3回 33人	小規模事業者	指標 講習会等受講者数 (達成度 143.5 %)	指標 (達成度 %)	経営計画の必要性を理解して頂き、記入に必要な内容などを学んでいただいた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 講習会参加者個別アンケート回答数27	目標 下げる 実施方法 現行どおり	今後も経営計画作成の講習会を行っていき、実際に経営計画作成につなげていく。			
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態・地域景況動向・消費者動向などを把握する調査事業を実施する。	調査研究(景況アンケート調査)を平成30年11月に実施し、157企業から回答を得た。 ①売上げ高の増減 全業種合計 増加26.9% 減少28.9% ②経営状況 全業種合計 良い15.7% 悪い16.3% ③資金繰り 全業種合計 好転12.6% 悪化16.6% ④設備投資 全業種合計 行った32.5% 行わなかった67.5% その他項目あり	小規模事業者	指標 回答回収件数 (達成度 104.7 %)	指標 (達成度 %)	「売上高」、「経営状況」、「資金繰り」、「設備投資」の4期を比較した結果、各項目は現状維持の回答が一番多い結果となった。今後の見通しについても変わらないとの回答数が最も多かったが、悪化傾向の回答数も2番目に多くやはり厳しい状況にある。今回の調査結果を生かして、地域のニーズに沿った経営支援を行うことができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 一括アンケート回答数157件	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も地域経済の動向を把握するために継続的に実施する。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考									
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D 評価												
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標						
福利厚生事業	①定期健康診断・生活習慣病検診の実施 定期健康診断・生活習慣病検診の実施が、労働基準法・労働安全衛生法等により義務付けられている。そうした中、特定健康診査、特定健康指導も導入され、事業主の従業員に対する健康管理責任が重くなってきている。商工会として各事業所の一助としてこの事業を実施するものである。 ②小規模企業者相互の交流と従業員間の交流を図り、雇用の持続的な安定と企業の健全な育成に資することを目的とする。	①10月29日、30日、31日、11月1日、2日の5日間で開催。(AM:8時30分-16時00分) ※29日、30日、3日は午前中のみ。 総受診者数: 393名 ②会員親睦交流事業 ・開催日/平成31年1月16日 ・行き先/長野県 諏訪大社 ・参加者数/52名	小規模事業者	指標	健康診断受診者数 (達成度 112.3 %)			指標	参加人数 (達成度 65.0 %)			①定期健康診断・生活習慣病検診を実施することにより、労働基準法・労働安全衛生法等により義務付けられている法的遵守し、特定健康診査・特定健康指導の導入により、事業主の従業員に対する健康管理責任を達成することができた。 ②会員交流事業を通じ参加企業間の交流と従業員の交流が図られ、企業の福利厚生面の充実が図られた。 交流事業の初回については、好評で満足度のいく交流が図られている。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	現状維持	実施方法	①一人でも多くの従業員が受診できるように開催日や時間などを工夫して(午前中間日を減らすなど)今後も継続して開催する。 ②アンケートの結果をもとに参加者により満足していただける事業としたい。
				目標数値	350	実績数値	393	目標数値	80	実績数値	52										B			
労働保険事業	労働保険の各種手続きから保険料の申告・納付等、労働保険に関する煩わしい作業を、事業主の委託を受けて事務代行を行う。	委託事業所数142件。 7・11・2月の3回に分けて保険料を納付した。	小規模事業者	指標	委託事業者数 (達成度 101.4 %)			指標	参加人数 (達成度 %)			労働保険に関する事務手続き及び納付手続き、雇用保険に関する事務手続きなど事業主の事務負担を軽減し労働保険料の納付を3回に分けることができた。 労災保険に加入することができない事業主やその家族も労災保険に加入できる特別加入を利用することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	現状維持	実施方法	経費削減のため自社にて手続きをする事業所が増えてきた。特別加入等事務給金のメリットを説明し少しでも委託事業所数を増やしていきたい。
				目標数値	140	実績数値	142	目標数値		実績数値											A			
雇用促進事業	優良従業員表彰事業は、永年にわたり地域産業に貢献した企業の従業員で勤務成績が優秀であって他の候補となる者を表彰し、今後一層の勤務意欲高揚に資する目的で実施するものである。いはば、事業所の発展につながるものである。	・開催日/平成30年11月20日 ・尾張旭市長賞 2名 ・尾張旭市議会議員賞 3名 ・愛知県商工会連合会長賞 3名 ・商工会賞 34名 総計 42名	小規模事業者	指標	被表彰者数 (達成度 84.0 %)			指標	参加人数 (達成度 %)			功績があった従業員を表彰することで、勤労意欲の向上を図ることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	現状維持	実施方法	従業員への定着や勤労意欲の向上を図るために今後も継続して実施する。
				目標数値	50	実績数値	42	目標数値		実績数値											B			
部会・委員会	商業・工業・建設業などの各部会活動を行い、参加企業の発展に資することを目標とする。	・幹事会・委員会開催回数/延出席者数 工業部会 5回/63人 建設業部会 7回/84人 商業部会 5回/70人	小規模事業者	指標	参加延べ人数 (達成度 100.9 %)			指標	参加人数 (達成度 %)			部会活動を通じて商工業者にとって有益となる諸事業の企画立案、実行し参加企業の発展に資することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	上げる	実施方法	今後も、商工業者にとって有益となる事業を計画する。
				目標数値	215	実績数値	217	目標数値		実績数値											A			
青年部・女性部	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会や研修会を開催し、事業所の発展と振興を図る。また地域の発展に寄与する。	青年部 研修会 1回 21名 講習会 3回 58名 活動推進研修会 1回 5名 女性部 研修会・講習会 8回 91名 環境美化事業 3回 27名 地域振興事業 2回 22名	小規模事業者	指標	青年部講習会等の参加人数 (達成度 129.2 %)			指標	女性部講習会等の参加人数 (達成度 116.7 %)			研修会を通じて、青年部員及び女性部員の資質向上を図る。また、地域振興事業等の実施により、地域社会の発展に寄与し、更には、部員間の団結を深められた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	上げる	実施方法	研修会を通じて、青年部員及び女性部員の資質向上を図り、地域振興事業等を実施し、地域社会の発展に寄与する。
				目標数値	65	実績数値	84	目標数値	120	実績数値	140										A			
商店街・街づくり事業	地域の環境整備の一環として、市内の発展会等へ訪れる方に快適なショッピング環境を提供し、魅力ある街づくり、商業環境づくりを促進し活性化を図る。	街路灯設置することで、店舗管理としてのイメージアップ効果と事業所の看板を設置することで、事業所、発展会等のPRができた。 周辺を明るくすることで地域住民への防犯として役立っていた。	小規模事業者	指標	街路灯設置基数 (通電基数) (達成度 91.4 %)			指標	参加人数 (達成度 %)			街路灯を設置することで、店舗管理としてのイメージアップ効果と事業所の看板を設置することで、事業所、発展会等のPRができた。 周辺を明るくすることで地域住民への防犯にも役立っている。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	下げる	実施方法	廃業や経費削減等の要因でスポンサーの減少が見られる。次年度より、使用料を減額し新スポンサー確保につなげる。
				目標数値	350	実績数値	320	目標数値		実績数値											B			
祭典事業	市民祭等を開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、販売市への出店により、小規模事業者に対し売上増加を見込め、市内事業者への広告宣伝・PRに役立てることで地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	市民祭実施に伴う協賛及び販売市への出店(10/13(土)・14(日)開催) ・特別協賛 ……15企業 ・広告協賛 ……57企業 ・販売市(食の広場) ……18企業 ・販売市(買物広場) ……12企業 ・販売市(グルメコーナー) ……9企業	小規模事業者	指標	協賛数 (達成度 102.9 %)			指標	出店者数 (達成度 86.7 %)			特別協賛及び広告協賛することにより、一般市民への周知を図り事業所PRに繋がった。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	事業主への	満足度	補足	目標	上げる	実施方法	積極的に協賛していただけるよう内容を工夫し協賛数を増やしていきたい。
				目標数値	70	実績数値	72	目標数値	45	実績数値	39										B			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D 評価				今後の展開・改善点等		備考			
				指標	特産認定数 (達成度 124.1 %)		指標	(達成度 %)		総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足		目標		
産業活性化事業	尾張旭市内の企業を中心として、「特産品」と「商品開発」の研究を行って、新たな市場へチャレンジすることによって、企業の発展に役立てる。また、観光協会とタイアップして、地域の産業と観光産業の活性化を図る。また、観光振興事業として、市を訪れる観光客、市民の土産品の需要に応えるため、特産推奨品を認定することにより観光産業に寄与する。	平成28年度末に行われた特産推奨品審査会において、認定された特産品に対し、今回認定期間（H29.4.1～H31.3.31）中に積極的に販売及びPRを行った。平成30年度中に次回認定期間（H31.4.1～H33.3.31）の特産推奨品審査会を開催した。 ・PR方法：イベント等でのリーフレット配布、ホームページ、広報誌への掲載 ・販売方法：イベントなどでの出店 特産品推奨品目数：36	小規模事業者		目標数値	29		実績数値	36											目標数値	
情報化推進事業	毎月異なる施策記事及び商工会内部の部会活動記事を中心として商工会だよりに掲載する。施策記事に関しては経営に役立つ、部会活動記事については部会等の魅力を知らせていただく。また事業所のPRや、地域振興事業に関係する記事も掲載する。	・商工会だより毎月発行・・・毎月異なる施策記事を掲載	小規模事業者	指標	発行回数 (達成度 100.0 %)		指標	(達成度 %)		各種施策や補助金などについて会員事業所へ積極的に情報提供ができた。 また、商工会の事業などについても幅広く知ってもらえた。		総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	現行どおり小規模事業者の役立つ情報を提供していく。必要に応じてページ配分を変更して、情報提供する。
若手後継者等育成事業	(1) 経営計画作成研修 小規模事業者の若手経営者は日々の経営や生産に追われ、自社の経営分析や商圏分析、長期の経営計画の策定などはほとんど行っていないのが現実である。この研修会を活用して事業計画の重要性を認識し、持続化補助金やものづくり補助金などの申請に活用して、事業発展の礎にする。 (2) 商工会青年部全国大会参加 全国各地から青年部員が一堂に会し、各ブロックから勝ち上がってきた代表者による主張発表大会などを聞くことにより、今後の青年部活動の参考にす。また、交流先などで他県の部員などとの情報交換も可能であるため、今後の青年部活動の活性化と部員の成長に役立てる事を目的とする。 (3) 事業承継セミナー 小規模企業の経営者・後継者はさまざまな基本的な課題を抱えている。その課題の本質を探り、課題解決を図りながら、経営者の思いを第一義に備わった魅力あふれる企業への転換を図るための「模」を打ち込む。	(1) 経営者講演会 講師：(株)田中金風製作所 代表取締役 田中和広 トライアスト大岩 代表 大岩基昭 開催日：3月13日 参加数：34名（内小規模31名） 対象者：市内若手経営者並びに後継者等 (2) 商工会青年部全国大会参加の具体的な内容 第20回商工会青年部全国大会への参加 開催日：平成30年11月21日（水）・22日（木） 開催場所：広島県総合体育館（広島県広島市中区基町4-1） 参加者：青年部長1名、副部長2名 (3) 事業承継セミナー 講師：経営コンサルタント 田中義郎 開催日：11月29日 参加数：10名（内小規模9名） 対象者：市内若手経営者並びに後継者等	小規模事業者	指標	(1) 研修会参加者数（5回1セットでの研修会を行い、目標値は5回の平均参加者数とする） (達成度 125.7 %)		指標	研修会・セミナー参加者満足度 目標値（満足・どちらかといえれば満足の割合） (達成度 110.3 %)		色々な経営者やコンサルタントの講演を聞くことにより、今後の自身の経営の糧にすることができた。		総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	計画とは違う内容の講習会に成ってしまっただけで、次年度は計画に沿った講習会を実施できるようにする。
創業支援事業	創業予定者に対してより専門的な支援を行っていくため、尾張旭市、瀬戸市、津島市、日本政策金融公庫と連携して支援体制を構築し、支援を行っていく。	・ワンストップ相談窓口の開設 創業者相談回数 15件 ・創業セミナーの開催 5回 延72名（経営、財務、人材育成、販路開拓）	創業予定者	指標	ワンストップ相談窓口相談回数 (達成度 300.0 %)		指標	創業セミナー参加者数 (達成度 288.0 %)		創業を支援する上で、他の支援機関と支援ネットワークを構築し、効果的な支援を行うことができた。		総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	創業者の相談やセミナー後のフォローアップができるような体制と仕組みづくりが必要。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。